

1 過労死等関連疾患（過重労働）分野工程表

1. 中期計画における本分野の目的

過労死等関連疾患（過重労働）分野では、過労死等の要因等として考えられる長時間労働、過度な出張業務、精神的緊張を伴う業務などの「労働要因」、睡眠や休養の状況、飲酒・喫煙状況、食習慣などの「生活要因」、健康に関する自覚症状などの「健康状態」に係る研究と臨床データ、臨床研究等が結びつくことを生かし、過重労働対策を促進させる。

2. 研究内容

(1) 研究名

過労死の要因となる脳心血管病の発症・再発に関する研究

(2) 研究の目的

虚血性心疾患と脳血管障害に焦点をあて、発症及び病態の進展過程をストレス応答の観点から包括的に検討し、脳・心臓疾患の二次予防に関して新たな指針を確立することを目標とする。さらに、健常者を対象に、勤務状況が、心血管系生体ストレス応答に及ぼす影響を検討する。

(3) 方法等

職業ストレス及び精神ストレスを包括的に検討し、過労死事案と急性心筋梗塞等の既往のある勤労者とを比較検証する観点から項目内容を精査したアンケートを作成し、これを用いて、急性心筋梗塞等の患者及び人間ドック受診者に対し、職業、勤務状況、ライフイベント等の調査を行う。また、酸化ストレスマーカー（Lox-Index）の関連及び抑うつとともに変動する脳由来神経栄養因子と勤労者の心血管障害との関連を検討する。

